

秋の褒章喜びの声

ルネサスセミコンダクタリング高崎工場製造部長 大木 誠一さん(59) 前橋市駒形町

龍神酒造会長 榎園 浩二さん(74) 毛塚茂平治さん(74) 榎林市西本町

桜井 幹男さん(65) 安中市安中

群馬土建工業社長 関口 功さん(63) 高崎市柳川町

障害者支援施設「さわらび」支援員・寮長 関根 英子さん(58) 前橋市元総社町

前橋東地区職場警察連絡協議会長 相沢 克也さん(79) 前橋市本町

荒牧 功さん(71) 太田市西本町

元前橋市消防団副団長 井上 清さん(61) 前橋市総社町植野



半導体の製造、検査を担う装置の保守に40年近く携わってきた。トラブルがあると製品を出荷できないというプレッシャーもあったが、上司や同僚、家族の支えがあつて続けられた。今後は培った技術の後進に伝えたい。

地方衰退、酒販免許緩和の流れの中、地域の歴史文化や景観などを付加価値の源泉としたい。造園は後の時代に残る仕事。いい仕事に携われるのいい仲間にも恵まれたからだと感謝している。

はるな郷にて38年、利用者の支援に当りてきた。利用者の笑顔を見られることが活動に努めてきた。委員として身を律し、交通安全啓発も起さないうち心掛けてきた。各委員の代表として馬調協会の副会長も務めてきた。これからも一人ひとりに感謝したい。

建築の専門員として約30年間携わってきた。中には解決に何年かかるとも思ったが、自分の知識や経験を生かしたいと思いつつ放水したことを覚えていた。これからも一人ひとりに感謝したい。

保護司 大平 利子さん(75) 伊勢崎市若葉町

保護司 片山伊久郎さん(74) 太田市新田溜池町

調停委員 沢沢 礼子さん(68) 太田市台之郷町

高崎市消防団副団長 高橋 喜良さん(65) 高崎市天神町

自然公園指導員 千明 勉さん(64) 片品村東小川

元県少年補導員 連絡協議会理事 根岸 三男さん(83) 藤岡市下吉塚

全国ビルメンテランス協会副会長 村田 茂行さん(69) 藤岡市藤岡



心のつながりを大切に、丁寧な対話を心がけてきた。関わった子が立派に成人したり、社会復帰したりする姿を見ることが何よりうれしい。23年間、更生保護活動に携わる皆さまや家族の支えによって続けられた。

受章は身に余る光栄だ。保護司になって20年、約30年の対人関係、19年にわたって、公平で、感謝の思いでいっぱい。火災は財産や生活を脅かす。日ごとに出発を全うしてきた。根山ではシカの害害などにより減少したシカに家族に感謝した。今日があると感じる。家族の支えや職場の皆さまに心より感謝申し上げたい。

30年以上にわたる登山道の見回りや遭難救助など、ハイカーや観光客に安全な公園整備を進めてきた。日光白根山ではシカの害害などにより減少したシカに家族に感謝した。今日があると感じる。家族の支えや職場の皆さまに心より感謝申し上げたい。

若い頃からビルメンテナンスマンに従事し、1年32年間、少年建築物清掃や設備管理、警備などの業務に携わってきた。多くの皆様に「お世話になりました」と感謝している。家族の支えや職場の皆さまに心より感謝申し上げたい。

県外居住の本県関係受章者

【藍綬】元日本即席食品工業協会理事長 井田純一郎さん(59) 東京都港区

黄綬

藍綬



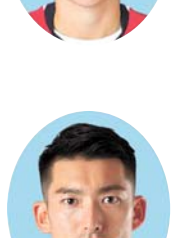
ソフトボール選手 上野由岐子さん(39) 高崎市浜川町



ソフトボール選手 我妻 悠香さん(26) 高崎市浜川町



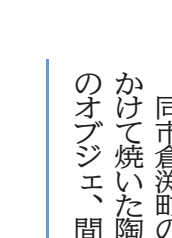
ソフトボール選手 市口 侑果さん(29) 高崎市浜川町



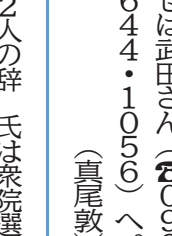
ソフトボール選手 内藤 美穂さん(27) 高崎市浜川町



ソフトボール選手 原田のどかさん(30) 高崎市八幡原町



ソフトボール選手 藤田 優さん(30) 高崎市浜川町



フェンシング選手 見延 和靖さん(34) 東京都練馬区



ソフトボール選手 森 さやかさん(33) 高崎市浜川町



ソフトボール選手 山本 優さん(33) 高崎市浜川町

今回、紫綬褒章を受章するに至って、大変私たちが五輪の舞台に光栄な思いで、これまでに支えてくださった皆さまへの感謝の思いが、この瞬間に溢れ出た。大会、感謝を忘れず、これからも、幅広くソフトボールの発展に力を入れていきたいと思つていく。

いろいろな思いがある中で、自分たちと一緒に戦い、支えてくださった方々がたくさんいると思う。金メダルという形で恩返しできるといい。これからも、幅広くソフトボールの発展に力を入れていきたいと思つていく。

素晴らしい章を受章でき、とてもうれしく思っています。大変な五輪の金メダルも今回、この瞬間に溢れ出た。大会、感謝を忘れず、これからも、幅広くソフトボールの発展に力を入れていきたいと思つていく。

受章をとてもうれしく思っています。13年越しの五輪の金メダルをいただくことができて本当にうれしく思っています。大会、感謝を忘れず、これからも、幅広くソフトボールの発展に力を入れていきたいと思つていく。

多くの人に支えられ、このたびは、名誉な章を頂いて大変に光栄に感謝しています。多くの皆さまの支えにより金メダルを獲得できた。今後ともソフトボールの発展に力を入れていきたいと思つていく。

このたびは、名誉な章を頂いて大変に光栄に感謝しています。多くの皆さまの支えにより金メダルを獲得できた。今後ともソフトボールの発展に力を入れていきたいと思つていく。

課題山積政策実現を

課題山積政策実現を

県央

多彩な技法で個性豊かな500点 陶芸教室作品展



陶芸サークル「高崎学」の森岡教室(高崎市の作田公園)が1日、同市のヤマダセンターLAB1ライフセレクト高崎で始まった。21人がさまざまな技法で作った約500点が会場を飾っている。写真、7日まで。同市倉敷町の穴窯で1週間かけて焼いた陶器やシーサーのオブジェ、間接照明など多彩な作品が並ぶ。出品者は初心者から陶芸歴30年以上のベテランまで幅広い。

草刈りや巣箱設置 南橋中生が環境整備



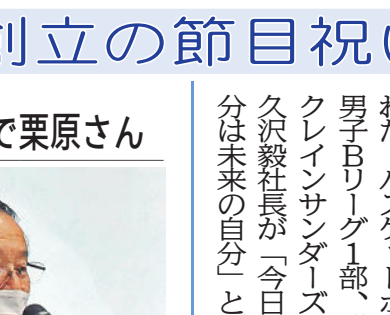
前橋南橋中(新井寿校長)は1日、前橋市南橋地区の南橋で環境整備を行い、1年生190人が草刈りなどに

「努力すれば夢が現実に」 西高でバレー代表由井さん

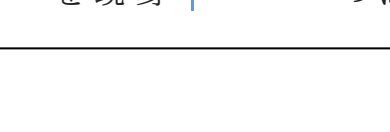


前橋西高(高田博基校長)の第39回開校記念式典が1日、前橋市の同校で開かれ、同校出身で東京パラリンピックの競泳日本代表、由井真緒里さん(19)は上武大で大会の入賞報告を行った。新型コロナウイルス感染症対策のため、由井さんは会議室からオンライン回線を使っ

各教室に向けて報告した。在校生には「夢や目標を持って努力すれば、それが現実になる」と呼び掛けた。由井さんは「努力している最中が、やっていると長かったと思える瞬間が来る



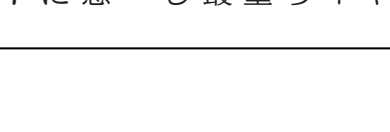
「最後は自分で決める」 吉井高で阿久沢さん



吉井高(小松裕一校長)の創立記念式典が1日、高崎市の同校体育館で開かれ、阿久沢社長は幼少期からバスケットボールを打つてきた経験から、男子Bリーグ1部、群馬中心に自身の経験を伝えていく。阿久沢社長は「今日の自分、過去の自分、未来の自分」と題し、校時代に春夏で甲子園に



「先入観持たず誠実に」 伊勢崎高で栗原さん



栗原さんは同校の前身の伊勢崎東高OBで、現在東京福祉大特任教授を務めている。講演では人生1000年代を豊かに生きるための考え方や人間関係について語り、過去の自分と比較する「今までの自分」を振り返る。阿久沢社長は「先入観持たず誠実に」



出場した話から社長就任に至るまでを振り返った。親や教師、友人からの助言で、自らの考え方や態度が変わったエピソードも紹介。「助言をどう受け取り、考えるかが重要。人のせいにはせず、最後は自分で決めてほしい」と呼び掛けた。

